

1. 地域経済と課題

- (1) 市内の病院の閉院や事業承継等が続いている。既報 (Vol.5) の Y 医院 (以下医院は略) に加え、S1、M1 が閉院。K1、S2、M2 は事業譲渡されたと聞く。M3 は 7、8 月の診療が午前中のみ。K2 は院長先生が 90 才前後。一方、N1 が新しいスキームで開院。いずれにしても市民の健康に直結しているだけに注視していきたい。
- (2) ① ホテル&リゾート佐賀唐津が来年 2 月 1 日から 3 月 31 日まで全館リニューアルのため休館。全国 23 ホテル一斉。4 月より新たなブランド (「メルキュール」) のホテルとしてオープン。現在来年 2 月以降の予約は不可。
② いっぽう新たなホテルが来年 4 月開業に向けて建設中。「からつホテル」、木造 2 階建て、全 56 室 (シングルのみ、身障者用 2 室を含む)。場所は二太子。
- (3) 唐津のタクシーの運賃が年内にも改定の予定。令和 2 年の改定に続くもの。初乗り運賃等が改定される予定。運転手の雇用環境 (給与) の改善と利用者の利便性の両立が図られる必要がある。市民にとっても観光客にとってもタクシーが使いやすいようになってほしい。現在、唐津地区のタクシーは、6 社、171 両。
- (4) (参考) 「赤ちゃん物価指数」というのがある。対象は粉ミルク、紙おむつ、服、人形、玩具自動車の 5 つ。5 月は前年同月比 6.9% 増 (おもちゃを除くと 6.0%)。消費者物価指数は 3.2% 増。比較可能な 1991 以降で最高伸び率。子育て世代には負担が大きい。異次元の少子化対策にもこうした柔軟な発想と鋭い視点が必要では。

2. 経営相談(巡回・窓口)から見える地域経済と課題

- (1) 4 月から 6 月までの第 1 四半期では巡回 303 件、窓口 684 件を行った。前期比、巡回件数は 136.7% 増、窓口件数は 14.2% 減の傾向である。当所セミナー案内等の広報も兼ねて巡回を実施。
- (2) 唐津市中小企業等活性化支援事業補助金の経営力強化分の二次募集が始まっている。内容は一次募集と同様。申請は 8 月 1 日から開始、申請後は随時審査し採択発表され、予算が無くなり次第終了。
- (3) インボイス制度セミナーを 6 月末に開催したところ多くの参加があった。いよいよ約 2 か月後の 10 月から制度が始まるのを前に、インボイス制度に対する意識が高まって来ている。
- (4) 原材料・エネルギー価格高騰の影響で、多くの業種が材料等の仕入単価の増加で厳しい状況にある。ある洋菓子店ではケーキを作るための材料のほとんどが値上がりし、事業存続のために商品価格の値上げに踏み切った。

3. LOBO 調査(早期景気観測)& 中小企業景況調査

(1) LOBO 調査【令和 5 年 7 月調査】

業況 DI は、持ち直しの一服感が続き、ほぼ横ばい。先行きは、期待感伺えるも、コスト増への懸念続く。

- ・全産業合計の業況 DI は、▲9.8 (前月比▲0.9 ポイント)

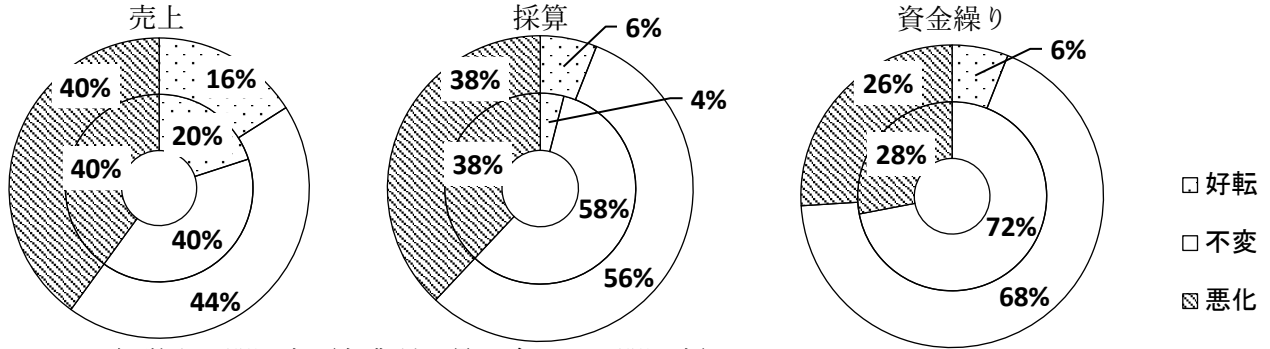
全国：製造業では、国内の設備投資が堅調に推移するほか、挽回生産が進む自動車関連が牽引し、改善した。一方で、建設業では、建設資材やエネルギー価格の高止まりによるコスト負担増で悪化となった。また、小売業・サービス業では、個人消費に一服感が見られる中、天候不順による顧客の減少が重なり、悪化した。卸売業でも、輸送費の高騰に加え、小売業・サービス業からの引き合いが減少し、悪化した。経済活動は回復基調が続き、価格転嫁も一部では進捗が見られるが、労務費・販管費の上昇分までの十分な価格転嫁は行えていない。また、需要増に伴う人手不足も深刻化しており、中小企業の業況は、ほぼ横ばいで足踏みしている。

九州：業況 DI はほぼ横ばい。小売業では、高付加価値商品の販売が好調な百貨店が堅調に推移し、採算が改善した。建設業では、住宅をはじめとした民間工事の受注が減少傾向にあり、売上・採算が悪化した。九州北部では今月 10 日に記録的大雨があり、近年豪雨災害が多発するなかで防災対策を進めてはいたものの、今回の豪雨は想定以上であり、事業所や車への浸水を防ぎきれなかったという声が聞かれた。

(2) 中小企業景況調査【令和5(2023)年4月～6月調査】

円グラフの外側：前年同期（2022年4～6月）と比べた今期（2023年4～6月）の状況

内側：前々年同期（2021年4～6月）と比べた前年同期（2022年4～6月）の状況



直面している経営上の問題点（各業種の最も多かった問題点）

製造業：原材料価格の上昇 小売業：需要の停滞 サービス業：材料等仕入単価の上昇
 建設業：材料価格の上昇 卸売業：仕入単価の上昇
 →前期に引き続き、多くの業種で原材料や仕入価格の上昇が経営に大きな影響を与えている。

4. 唐津の街のトピックス

- 約900頭のある肥育農家の話、「1年前の飼料代1,000万円/月、今は2,200万円/月。補助金でやっとしのいでいる。」(5月10日)。苦勞がしのばれる。
- 昨年で一区切りの土曜夜市が、今年は「からつ中町土曜夜市」として開催された。事前の宣伝が少ないわりに人出が多かった。市民が何を欲しているかをつかむ機会となった。
- ①シアターエンヤが外務省管轄の独立行政法人「国際交流基金(JF)」によって映画館と推薦映画(『花筐』)が海外に向かって配信される。「唐津シネマの会」から培われた市民とのつながりが評価されたもの。
 ②第3回の唐津演屋祭が7月22, 23日に開催された。前回は上回る158作品の応募があった。「地方の小さな映画館から皆さんの大きな夢を応援します」がキャッチコピー。財源はクラウドファンディング。審査員の講評はプロの視点からで若手のクリエイターにとってためになるアドバイスであった。
- 本誌Vol.3で既報の唐辛子。あれから、「唐津ピリカラ協会」に発展して、7月9日「ごちそうマエストロ」で放映。日本で流通する唐辛子はほぼ輸入品、国産は数%。唐津が唐辛子の一大生産地になるのも近い！今期ピリカラ協会は約25tの生産量。2020年生産量1位京都府で83t、5位栃木県で27tのデータ有。
- 唐津Returnプロジェクト「唐津STEAM day!!～夏～」が開催中。商工会議所が共催することによって(独)中小企業基盤整備機構から初回の講師を派遣。講師の桜亮氏がすごい、世界116社の成功事例からの考察は大人にとっても興味深かった。参加者の中高生から未来のアントレプレナーがきっと生まれる。
- 最近テレビCMで盛んに宣伝している「ちょこぎっぷ」(～RIZAPがつくったコンビニジム～)が唐津市町田コンビニ跡にオープンする予定。健康志向が強くなっているのか、ここ数年ジムの開業が続いている。
- 風情ある日本旅館の宿泊状況(5月14日(日))。宿泊11組のうち、9組は欧米を中心とした外国人カップル。日曜日というもあるがインバウンドが戻ってきている。
- 刀町の「点」のあとに焼肉「神楽」が7月にオープンした。食の街・唐津に佐賀牛の焼肉店が出来たのは、市民にとっても観光客にとってもよいことだ。
- 7月12日早朝大雨による影響の有無を問い合わせるため唐津駅に電話をすると「メッセージがいっぱいです」のアナウンスが流れるのみ。唐津の玄関口の唐津駅の在り方を総合的にチェックすべきでは。